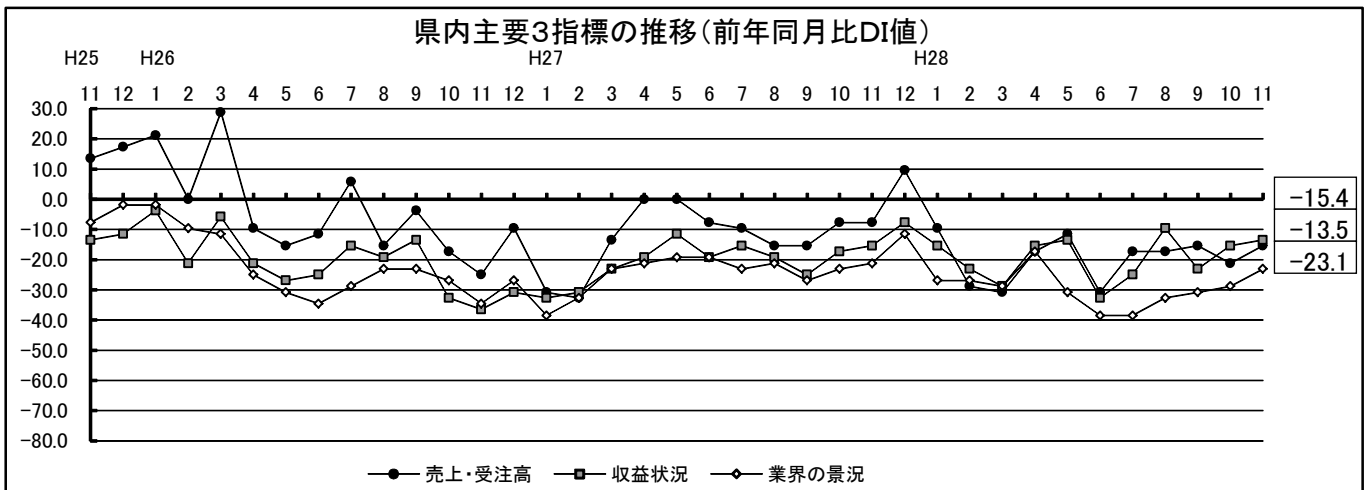


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成28年11月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 11月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「業界の景況」が上昇し、「取引条件」「雇用人員」が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より5.8ポイント上昇の-15.4ポイント、「収益状況」が1.9ポイント上昇の-13.5ポイント、「業界の景況」が5.7ポイント上昇の-23.1ポイントであった。
- 前月比で主要3指標をはじめ多くの数値が上昇を続けているが、いまだ回復途上であり、天候不順や国内外の経済情勢の変化で再び悪化に転じかねない状況である。比較的安定していた「雇用人員」が下落するなど、企業の経営基盤が不安定になっている。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-15.4	+5.8	-15.5	+8.6
収益状況	-13.5	+1.9	-21.6	+2.9
業界の景況	-23.1	+5.7	-26.1	+2.0

売上・受注高

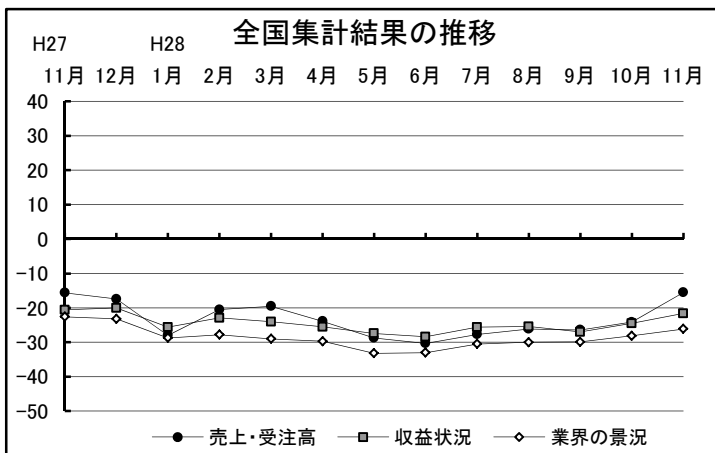
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より5.8ポイント上昇の-15.4ポイントとなった。全国においては、前月より8.6ポイント上昇の-15.5ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より1.9ポイント下降の-13.5ポイントとなった。全国においては、前月より2.9ポイント上昇の-21.6ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より5.7ポイント上昇の-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より2.0ポイント上昇の-26.1ポイントとなった。



概況

11月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上」「在庫」「収益」「資金」「設備」「景況」の6指標が上昇し、「条件」「雇用」の2指標が低下した。主要3指標は、「売上」が前月より5.8ポイント上昇の-15.4ポイント、「収益」が1.9ポイント上昇の-13.5ポイント、「業界の景況」が前月より5.7ポイント上昇の-23.1ポイントであった。諸数値の回復傾向が続く中、「雇用」が5ポイントを超えて下落しており、今後の経済情勢の変化に伴う企業の対応力と経営基盤が危ぶまれる。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中1業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇した。「収益」は製造業で1業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で1業種が上昇した。「景況」は製造業で2業種が上昇し、非製造業で1業種が上昇した。

米国大統領選の結果を受け、法人減税・財政出動への期待からドル買いが進み、円相場が予想外の急落を見せた。経済のグローバル化に伴い、国際市場の相互連関が高まり、諸外国の政治的意思決定が国内企業の動向や消費マインド、金融・財政政策の自律性等様々な分野に影響を及ぼす時代となっている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	×	△	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	×	△	△	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	○	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	×
小売業	×	△	○	△	△	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

○ 増加・上昇・好転 △ 不変 × 減少・低下・悪化
(DI値 +40ポイント以上) (DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	25.0	-25.0	-25.0
繊維・同製品	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
木材・木製品	-75.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	50.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
製造業	-20.0	-8.0	-8.0	0.0	-20.0	-8.0	-4.0	-4.0	-16.0
卸売業	33.3	-33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-66.7
小売業	-42.9	-28.6	42.9	-14.3	-28.6	-14.3		0.0	-71.4
サービス業	0.0		0.0	-16.7	16.7	0.0		-33.3	0.0
建設業	-20.0		0.0	-20.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-11.1	-30.0	11.1	-11.1	-7.4	-3.7		-7.4	-29.6
全体	-15.4	-14.3	1.9	-5.8	-13.5	-5.8	-4.0	-5.8	-23.1

図表3～【指標別DI値の推移】

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月比
売上高	-7.7	9.6	-9.6	-28.8	-30.8	-17.3	-11.5	-30.8	-17.3	-17.3	-15.4	-21.2	-15.4	5.8
在庫数量	0.0	-2.9	2.9	0.0	-5.7	-8.6	-5.7	-11.4	-22.9	-22.9	-31.4	-28.6	-14.3	14.3
販売価格	3.8	7.7	3.8	1.9	-1.9	3.8	-3.8	-7.7	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0
取引条件	-1.9	-1.9	-3.8	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-7.7	-5.8	-7.7	-9.6	-1.9	-5.8	-3.8
収益状況	-15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-28.8	-15.4	-13.5	-32.7	-25.0	-9.6	-23.1	-15.4	-13.5	1.9
資金繰り	-5.8	-9.6	-5.8	-5.8	-11.5	-9.6	0.0	-11.5	-9.6	-5.8	-7.7	-9.6	-5.8	3.8
設備操業度	-4.0	-16.0	-8.0	-16.0	-24.0	-20.0	-24.0	-16.0	-28.0	-16.0	-16.0	-8.0	-4.0	4.0
雇用人員	0.0	-1.9	-3.8	-5.8	-1.9	1.9	3.8	3.8	-1.9	0.0	0.0	0.0	-5.8	-5.8
業界の景況	-21.2	-11.5	-26.9	-26.9	-28.8	-17.3	-30.8	-38.5	-38.5	-32.7	-30.8	-28.8	-23.1	5.7

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
繊維・同製品	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
木材・木製品	-25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	50.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0
一般機器	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	-25.0	25.0
製造業	4.0	16.0	0.0	0.0	0.0	8.0	4.0	-4.0	8.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6		0.0	0.0
サービス業	0.0		-16.7	-16.7	0.0	-33.3		-33.3	0.0
建設業	0.0		20.0	-20.0	0.0	0.0		0.0	20.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	7.4	10.0	0.0	-7.4	3.7	0.0		-7.4	3.7
全体	5.8	14.3	0.0	-3.8	1.9	3.8	4.0	-5.8	5.7

特記事項

情報連絡員報告（平成28年11月分）

所属組合	特記事項
味そ製造業	味噌関連商品による売上高増加。特に麴ブームによる甘酒など、麴関係が好調である。
染色整理業	特段の変化なし。
外衣・シャツ製造業	業界の景況は底辺推移。
一般製材業	11月に予定していた物件が、着工の遅れなどが多く、加工に響いてしまった。12月は年末による影響がないか少々気になるところ。
建具製造業	11月後半になり、若干の受注増加があった。ただし、納期が短く、各社苦戦している。
木材・木製品製造業	若返りをはかり、教育に力を入れたいが、若手が入ってこない。定年退職者の補充がなかなかできない。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	全体としては微減で推移しているが、体感的には減少が大きく感じられる。
金属製品製造業	若干、仕事依頼（自動車関係）の打診が出てきた。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品関連…富士重工関連について、引き続き下請け企業は多忙である。その半面、足利市に進出していた非会員企業（従業員80名、本社は横浜市、自動車部品・農業機械等を製造する金属プレス業）が撤退するとの情報がある。同社は真岡市に工場があり、集約する予定である。 金属金型…小規模企業は廃業も出てきている。中小企業は格差があり、設備投資している企業は受注が活発であるが、設備投資できない企業は厳しい状況である。
一般機械器具製造業	本年12月の報告は前年同月と比較すると、一部の企業を除き全体的に不変という結果になった。しかし、全般的に懸念がないわけではないため、今後の業界の景気状況を注視していきたい。
一般機械器具製造業	好転の兆しが見えない。各社忙しい様子だが、小ロット注文のため利益に結びつかない忙しさである。
各種商品卸売業	<p>H29春新卒予定者の採用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 理化学機材卸業…高卒者を採用内定とした。高卒者の採用は初めての試みでもあり、大切に育ててゆきたい。 <p>業況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 海苔製造・卸…9月決算結果はほぼ前年並みの数字を確保することができた。異常気象が原因となって海苔原料が不作となり仕入高が減少した。製品在庫も尽きてきたため値上げに踏み切らざるを得ず、今後取引先との値段交渉が課題。また、今年は海苔大手や老舗企業の倒産・廃業が多かった。 産業用車両卸…メンテナンスサービスマンの人材不足が深刻。 紙製品卸…主な取引先である印刷業界の不振もあって、全国的に紙需要は下降傾向にある。11月に二つの地方選挙があったことで一息つくことができた。
食肉小売業	飲食関係の客単価が低いため、売り上げが伸びていない。物販も必需品のみの購買で、安物中心の動きであった。

各種商品小売業	月初めのイベントにより街中は大変な賑わいがあり、個店の消費はなかなかだった。しかし、全体的には今一つ消費の上昇を見ることができず、大型店は売上を20%ぐらい落としたとも言われている。
各種商品小売業	いよいよ近隣アピタの閉店が間近になり、ユニーグループ全体に対してのお客様の目というものがますます厳しくなったように思う。 対策の一つとして、施設外壁の看板をリニューアルし、お客様に対してダイレクトに存在感をアピールした。結果がすぐに表れるようなものではないが、電球をLED化したりするなど、まずは可視的な部分から改めていく予定。
花・植木小売業	夏以降の曇天などの影響もあり、11月は全般的に品薄傾向となり、前年に比べ10～20%の入荷減、10%程度の単価高で推移した。 婚礼や葬儀など業務需要の牽引により、菊類、バラ、カーネーション、トルコキキョウ、かすみ草などは月を通して引き合いが強かった。一方、一般小売りの動き、需要はかなり落ち込んでいる。
理容業	組合員の高齢化は深刻な問題となっており、後継者がいないためやむを得ず組合を脱退される方が増えている。今後の検討課題である。
自動車整備業	経常利益ではプラス状況にあるものの、資金繰り内容に苦戦している。
ビルメンテナンス業	売上高は横ばい傾向だが、経費削減により収益は向上している。最低賃金上げは今のところ、収益性に影響せずには推移している。
給食センター	平成28年3月末で不採算部門は撤退したが、平成28年4月より弁当の価格値上げと新規の得意先があり、売上高は前年同月比で増加となった。 食材・燃料・水道光熱費の価格が下がっていることや、新調理法で製造したシニア向け弁当の拡販等コストダウンにより、収益は改善されると思われる。
旅館・ホテル	11月の業況は、残念ながら過半数の宿で、あまり良くなかった昨年度より更に宿泊者数が下回ってしまった。また、忘年会の予約も減っている。そのような中、スキー場や大型ホテルを中心に外国人観光客誘致の動きがあるようだ。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは46%減、敷物用ラベルは67%減、壁装用ラベルは2%減であった。 本年4～11月累計では、前年比カーテン用ラベル66%減、敷物用ラベル36%減、壁装用ラベル41%減であった。 ラベル支給（売上）金額前年同月比は21%減、累計53%減であった。 本年度は8カ月が経過したが、防災ラベル支給枚数は48%減少、ラベル支給金額は53%減少しており、景況は良くない。
一般貨物自動車運送業	前期比売上高、収益状況好転傾向を示す事業所が増加している。年末を迎え、輸送量は増加すると思われるが、荷主からの受注消化とドライバー不足などを考慮すると厳しい状況になると懸念している。
貨物軽自動車運送業	年度後期に入ってから一般貨物の受注量が増加傾向にあり、堅調に推移し、前期から挽回している。 ただ、組合員（ドライバー）不足により、受注が供給に追いつかず、大きな機会損失となっている。
一般乗用旅客自動車運送業	対前年比で10%強の売り上げの落ち込みがあり、厳しい状況が続いている。
大谷石採石業	貼石関係は微減、積石関係は減。震災による石堀修理が今でも少しあるとのこと。老舗会社でも退職に伴う若手雇用の補充があり、世代交代が少しずつ進んでいる。

